

平成27年度 第46回 全九州高等学校バスケットボール春期選手権大会

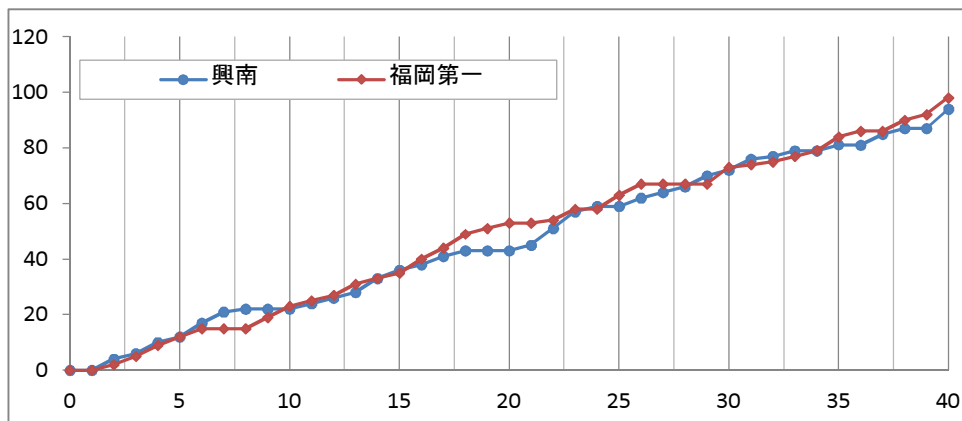
男子2回戦
 主審 松本 究
 副審 小川 隆三

興南 94 (沖縄1位) ●

98 福岡第一 ○ (福岡2位)

22 - 23
 21 - 30
 29 - 20
 22 - 25
 -

No. 13A6 日時: 2016年2月13日(土) 16:30 会場: 薩摩川内市運動公園体育館A6



興南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 野原 暉央 (C)	22	3	5	3	4
5	* 大田 徳弥	20	1	6	5	4
6	* 工藤 壘	0	0	0	0	0
7	* 喜納 昌也	19	2	5	3	2
8	名城 正真	11	3	1	0	4
9	島尻 玲央	11	0	5	1	3
10	* 平良 陽汰	11	0	3	5	5
11	金澤 靖治	0	0	0	0	0
12	勢理客 寛彰	0	0	0	0	0
13	川満 大我	-	-	-	-	-
14	ウィリアム アデバンジョ	-	-	-	-	-
15	安里 宗弥	-	-	-	-	-
16	兼城 賢斗	-	-	-	-	-
17	甲斐 慧	0	0	0	0	1
18	古堅 滉翔	-	-	-	-	-
コーチ	井上 公男	-	-	-	-	-
合計		94	9	25	17	23

福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 重富 周希 (C)	11	0	3	5	2
5	* 重富 友希	22	1	6	7	3
6	松本 礼太	16	3	2	3	1
7	バムアンゲイジョナサン	13	0	5	3	4
8	* 土居 光	19	0	8	3	4
9	三角 敬祐	-	-	-	-	-
10	平子 啓太	-	-	-	-	-
11	* 小野 絢喜	4	0	2	0	0
12	* 蔡 錦鈺	13	1	5	0	4
13	吉居 大誓	-	-	-	-	-
14	井手 拓実	0	0	0	0	1
15	比嘉 聖人	-	-	-	-	-
16	長野 雄大	-	-	-	-	-
17	大角地 漱水	-	-	-	-	-
18	原 拓海	-	-	-	-	-
コーチ	井手口 孝	-	-	-	-	-
合計		98	5	31	21	19

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1P、両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。開始から1分間はどちらも無得点。先制点はスティールからの福岡第一#5のレイアップ。直後に興南#7フェイクからミドルシュート。残り5分興南#9のミドルシュートから流れを引き寄せ。残り2分からは福岡第一#7、8の連続得点で点差を縮め、終了間際に逆転。第1Pは22-23で終了。

第2P、興南はマンツーマン、福岡第一はゾーンディフェンスでスタート。残り8分までは一進一退の攻防を繰り広げるも、興南のターンオーバーから福岡第一#8のレイアップを皮切りに勢いをつけ、連続得点で引き離しにかかる。すかさず興南タイムアウト。その後さらに離されかけるも、興南#4の連続タップショットで食らいつく。福岡第一も長身の#12のリング下ショットで応戦。残り2分、福岡第一がリバウンドからの速攻の連続で一気に10点差をつける。興南タイムアウト。タイムアウト後は福岡第一が激しいオールコートゾーンプレスをしかける。第2Pは43-53で終了。

第3Pのスタートのディフェンスは第2Pと同じ。#9のリング下やブロックショットなどで点差を縮める。残り6分興南#5と#7の連続3Pで1点差に追いつき、#10のドライブで逆転。その後一時福岡第一がリードするも、興南#10のアシストで#5が決めて再逆転。しかし福岡第一#5が3Pを決めて逆転。終了間際興南#4のブザービーターの3Pで73-72となり第3P終了。

第4Pは残り6分までは一進一退の状態が続く。残り5分、#6の3P、#5のリング下の連続得点で差をつける。興南タイムアウト。1点差まで追いつくも福岡第一が点を重ねる。興南が最後まで粘るも、それを振り切り福岡第一が4点差で勝利を収めた。

記者 石澤 知美 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会